

心響きグループ

16

心に響き合う歌を

「佐久間景子の会」



△手拍子に合わせて童謡を歌う

「わたしの兄弟であるこの最も小さい者のひとりにしたのは、わたしにしてくれたことなのである」……マタイによる福音書25章（新共同訳より）

この聖書の言葉に励まされて、きょうもギターを持って5人のメンバーと一緒に、富士楽寿園のお年寄りと、懐しい歌のひとときを過ごしてきました。

輪になって、おじいちゃんやおばあちゃんたちと、童心に返って歌ったり手拍子をとったりしていると、いつのまにか一体感が生まれるのです。リクエストにこたえると、童謡から懐メロはては軍歌まで飛び出します。

ふと気がつく、寝たきりのお年寄りの目に、涙が流れていました。皆、神様の大切な一人ひとり。さまざまな病苦や孤独に負けず、元気に明るく生きてほしいと願わずにはられません。

15人ほどのメンバーが、地道に小さなボランティア活動を続けています。

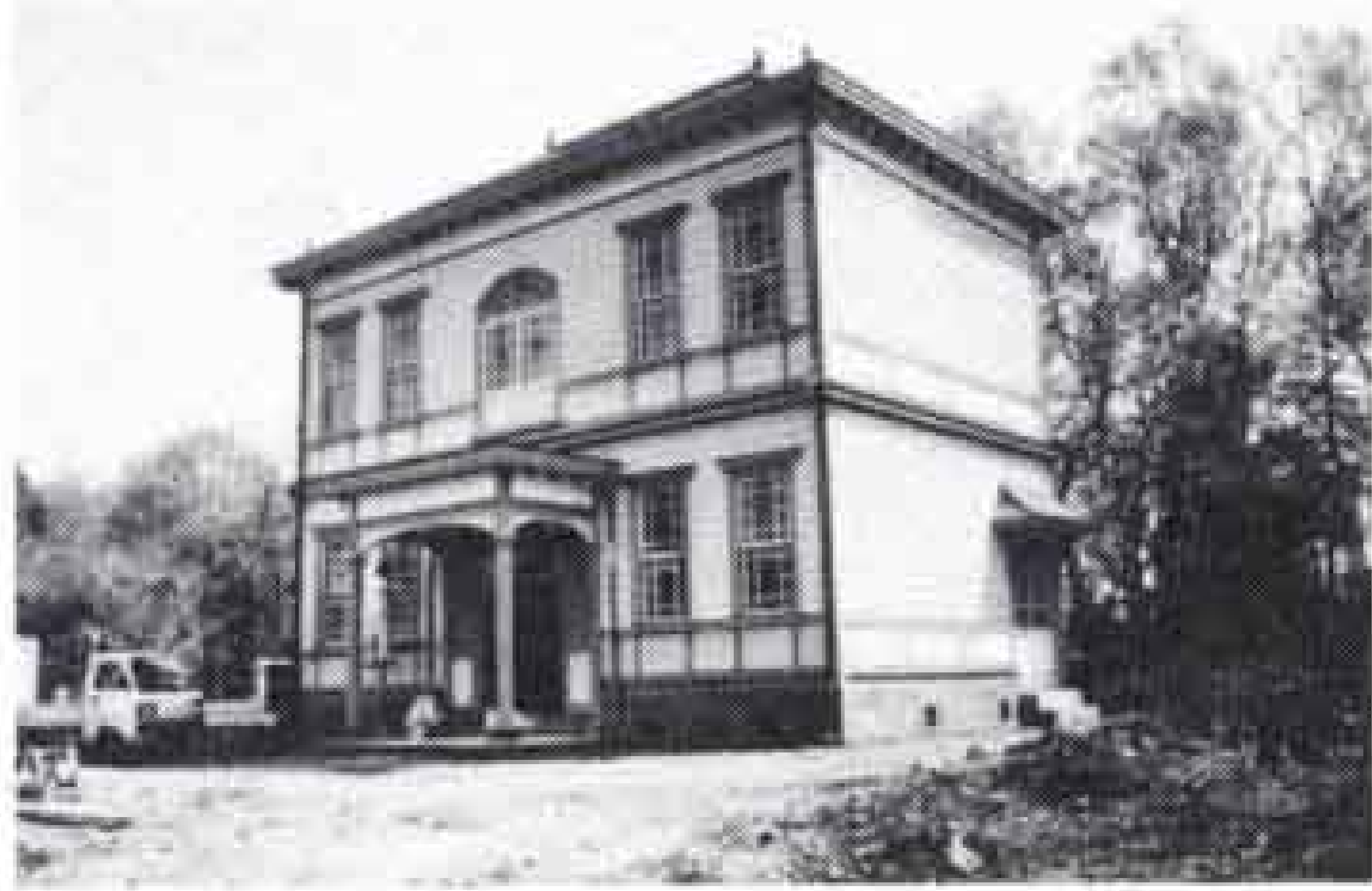
問い合わせ 保健婦人センター内

ボランティアセンター ☎64-7100

春うらら。世間は、「花見だ、酒だ」とうかれてるのに私の心はうつろ。なぜって私は花粉症。ただ薬とティッシュを抱える日々。「んもういや。こんな生活」。同志よ！今こそ杉をブナに植え替えるトラスト運動を起こそうではないか。クシャン！

こちら編集室

富士の今と昔 59



◎ 広見公園に移築された杉浦医院、4月29日にオープンします

「歴史民俗資料館」に、洋風木造建築「杉浦医院」（中央町）が移築復原されました。同じ町内の鈴木芳雄さんのお話。「私の母が若いころ勤めていてね、関東大震災のときもびくともしなかったそうだ。子供のころ高い建物といたらこの病院と小学校くらいだったね。最近までよく写真家が来ていたよ。保存されることはうれしいけれど町内の住民としてはちよっと寂しいね」



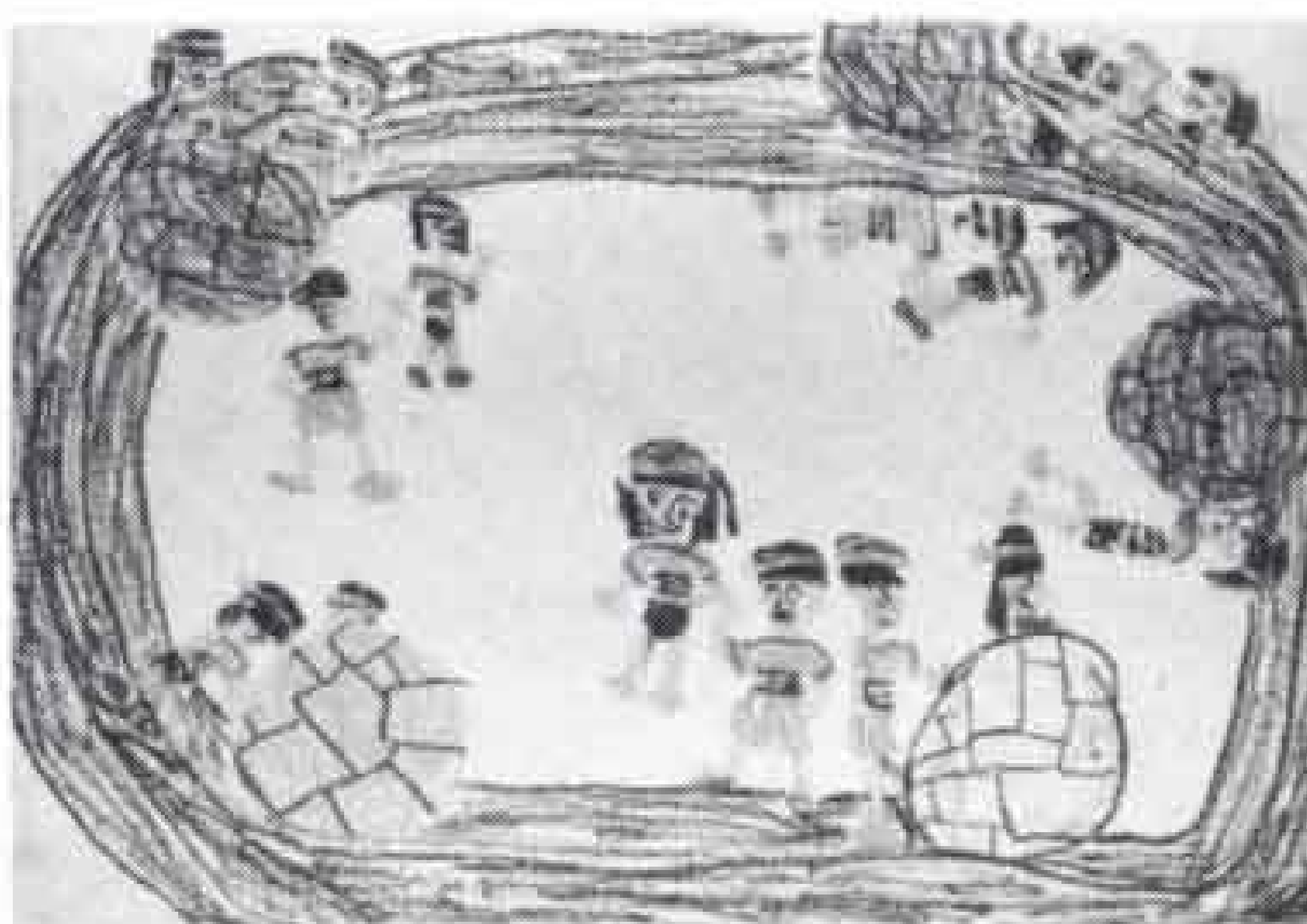
広見公園内の「歴史民俗資料館」に、洋風木造建築「杉浦医院」（中央町）が移築復原されました。



音 旧東海道に面したこの通りには今でも石づくりの倉や家が残っています



富士南小学校では、小うんどう会がありました。お友達が、たのしかった大だまころがしやつなひきの絵を、かいてくれました。



小うんどう会で、大だまころがしをしました。かずのりくんところがしました。二ぼんだつたのに、ぬかさされて、つぎの人にわたすときは、ビリになってしまいました。



ふじしまあい



「パン」と、ピストルがなったから、力をふりしぼって「よいしょ、よいしょ」と、ひっぱりました。わたしたちの、グループがかったから、みんな大よろこびでした。



すずきよしの